

薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
8月31日
第50号



キンミズヒキ（バラ科）

園内で初めて見ました、管理棟
近くのアジサイの横です。
日本全土、朝鮮半島、中国、シ
ベリヤ、ヒマラヤに分布して、
道端や野原に多い多年草です。
ミズヒキはタデ科ですが、キ
ンミズヒキはバラ科に属します。
そう果に鉤（カギ）が付いてお
り、衣服によく、くっつきます。
生薬名としては、全草を竜牙草
（リュウガソウ）または仙鶴草
（センカクソウ）といい、民間薬
として下痢止めや止血剤として、
口内炎、扁桃腺のうがい薬とし
て、また、外用剤として湿疹やニ
キビなどに煎液を塗布または浴剤
として利用します。

クサギ（シソ科）

日本のどこにでも見られる落葉
高木です。講義棟側の正門から
入ってすぐ右側でにあり、現在
は蕊に特徴のある白い花が見ら
れます。クサギは「臭木」と書
くき、葉をちぎるとゴマ油のよ
うな臭いがします。花はちょっ
とくせがありますが、やさしい
匂いです。また、秋の赤い萼に
包まれた瑠璃色の果実も魅力的
です。生薬としては、葉と小枝
を臭梧桐（シュウゴドウ）とい
い、高血圧、痔、リュウマチな
どに用います。地方によって
は、春の若葉を山菜として味噌
汁や和え物にして利用されま
す。また、果実は草木染めの青
色染料（トリコトミン）として
使用します。

今、こんな草木が楽しめますよ！！